

高倉通信

平川市長寿福祉大会

敬老の日の9月17日平川市文化センターで行わ



金婚者記念撮影

れた24年度長寿福祉大会。式典では県知事顕彰（100歳到達者8名・夫婦ともに88歳以上9組）や平川市顕彰（90歳卒寿101名・金婚65組）の伝達老人クラブの表彰などがあり、式典の後は一輪車クラブの演技等で長寿をお祝いしました。

また、式典に先立ち、半世紀にわたって苦楽をともにしてきた金婚のみなさんに敬意を表し、金婚長寿祈願祭と金婚者記念撮影が行われました。

「てんとうむし体操」教室

尾上在宅介護支援センターでは、運動器の機能向上を目的として高齢者向けの転倒予防体操（てんとうむし体操）教室を開催し、筋力アップと健康な体づくりをしています。8月28日は、21名の皆さんが参加され、スクリーンに映し出されたお手本に合わせ、日常の生活ではなかなか行えない足の曲げ伸ばしや、椅子につかまりながら足で『てんとうむし』の字を描くなどといった体操に、皆さんは「とても勉強になりました。」とおっしゃっていました。



普段使わない筋肉をきたえます

〒036-0221 平川市中佐渡南田1-1

高倉新聞販売店 電話 0172-57-3030

第74号

東奥日報 朝日 毎日 読売 日本経済 スポー ツ新聞各種

まち歩き 大石良文の墓石 (尾上山善應寺)

善應寺の共同墓地にある、「大石良文墓」と刻まれた墓石。この先祖は、赤穂浪士の中心人物・大石内蔵助と同族の大石氏であり、赤穂浅野家から事情あって浪人となった後、近衛家に仕え、その近衛家とゆかりが深い津軽家に、召し抱えられました。（のちの赤穂浪士の仇討ちの際は、陰ながら支援したと言われています。）

繁三郎良文は、そこから6代目となりますが、明治4年廃藩により高木村原富に住み、この地で死去しました。良文の子孫は弘前に移



「大石良文墓」

住し遺骨も移されていますが、現在もお参りに訪れる方がいるとの事です。

おはなし会 尾上図書館



今日の紙芝居は「ヘンデルとグレーテル」

9月8日、平川市尾上図書館では、おはなし会とんの会のみなさんによる「おはなし会」が開催されました。毎月第2土曜日に行われるこの行事は、絵本の朗読や紙芝居、昔話などで、この日を楽しみに訪れた子ども達も真剣な表情で聞き入っていました。